



リレーエッセイ

# ハードルを越えて

40

日高 優翔さん  
(屋久島町)

僕は、大好きな屋久島にある木工所「ウッドショップ木心里」で働いています。中学校を卒業後も屋久島内の高校へ進学を希望していましたが、当時は島内に養護学校はありませんでした。そこで、先生に相談し、屋久島に養護学校を作るよう働きかけました。その結果、学校はできませんでしたが、屋久島高校内に中種子養護学校の支援教室ができました。翌年には後輩が5人入学してきて、とても嬉しかったです。

高校卒業後は木工を学ぶために、先生の紹介で鹿児島県障害者職業能力開発校に進学しました。ある日、先生から「木工でアビリンピックに出場してみないか」と声を掛けられました。最初は、出場することに少し前向きではありませんでした。でも、練習を重ねるうちに自信が付き、気付いた頃には「優勝したい!」と思うようになっていました。後から先生に聞いた話では、開発校のオープンスクールで家具作りの体験をした時から「木工の素質がある!」とっていただいたみたいです。父の趣味がDIYで、僕も子どものころからものづくりに慣れ親しんでいたおかげだと思います。

本番の課題は、5時間で「蓋付き小箱」を製作するというものです。蓋の小口を合わせる作業には苦戦しましたが、練習より上手くできました。大きな金メダルを獲得することも初めてだったので、とても嬉しかったです。普通なら経験できないことができたので、アビリンピックに出場できて本当に良かったです。

僕は、木工に特化して更に学ぶために、さつま町の高等技術専門学校へ通いたいと思っています。アビリンピックで金賞を取った人は、世界大会へ出場することができます。ただ、屋久島では練習する場所がなく、道具をそろえたり、刃物を研いだりすることもできません。開発校の先生からも「世界大会出場に向けて練習できる場所を確保した方がいい」と勧めてもらったので、今は専門学校へ通うために、働いてお金を貯めたいです。

木工の仕事だけではなく、バレーボールも頑張っています。今は鹿児島県の「排球かごしま」に所属していて、熊毛郡の代表選手でもあるので、2023年のかごしま大会に向けて日々努力しています。仕事もバレーボールも大好きなことに引き合えるこの環境に感謝しながら、これからも頑張りたいです。



主にキーホルダーやボールペンなど屋久杉を使用した商品を作っています。木の魅力は自分が思うような形に加工できることです。



代表 鹿島さん「優翔君は実直なので目標に向かって凄く伸びると思います。いいものしかもっていない素敵な子です。」



社会福祉法人 慶生会

2023. 10. 29

谷山駅横に

地域交流センターOPEN

コンセプトは「ごちゃまぜの優しい1街」

※でもぬき・ぬき・ぬき・ぬき

求人詳細 建物名特公開 ☆表彰等有り☆

Instagram LINE

お問い合わせ 管理課：099-263-3665

広告

